

# スリランカ国 リチウムイオン電池製造にかかる基礎調査

## 企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社共創
- 代表企業所在地：埼玉県朝霞市
- サイト：スリランカ国・コロンボ及びその近郊



## スリランカ国の開発課題

- 2009年の内戦終結後、著しい経済発展が続くスリランカでは、毎年7～8%増という電力需要の急拡大に対し発電・送電容量の増強が間に合わない状況が続いている。
- また、同国経済の持続的な発展のためには、雇用の受け皿としての重要性を含め、付加価値の高い製造業の育成・振興を実現することが課題となっている。
- スリランカ原産のヤシ殻やチタン鉱石の活用が課題

## 中小企業の製品・技術

- 高出力、高エネルギー（大容量）、高信頼性（発火などの危険性がなく安全である）のリチウムイオン蓄電池の製品技術を有している。
- 新興国での電池工場の立ち上げを行っており、輸出入を含めてロジスティックのノウハウ、主要材料の供給ネットワークを有している。
- 最新の負極材（LTO、ハードカーボン）の製造技術を有する。
- 亜熱帯の気候特性に合わせた独自の製造手法を確立している。

## 日本の中小企業の事業戦略

- 提案企業である株式会社共創は、国内にてリチウムイオン電池の技術開発や製造を行っており、今後、スリランカ国にて低コストで高性能なリチウムイオン・モジュールの製造工場の建設を検討している。現地での事業展開により、スリランカ国内でのリチウムイオン電池の普及や、同国の天然資源（チタン、ヤシ殻）を生かした負極材の生産技術を現地に移転し、同国の工業化のための裾野産業・人材育成に資することが期待される。

## 中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

- ・電力利用の効率化（蓄電システムを活用したピークシフトによる電力需要を平準化）による需給ひっ迫の緩和・解消への貢献が期待される。
- ・社会インフラとしての非常時バックアップ電源整備への貢献が期待される。
- ・再生可能エネルギーの導入を支える効果的・効率的な技術ソリューション（出力変動対応等）としての貢献が期待される。
- ・当該製品・技術が、電力系統用、自動車用、防災用、家庭用等、幅広い分野での活用が想定され、関連製品・技術、サービス市場に参加する産業群創出の起爆剤としてのインパクトが期待できる。